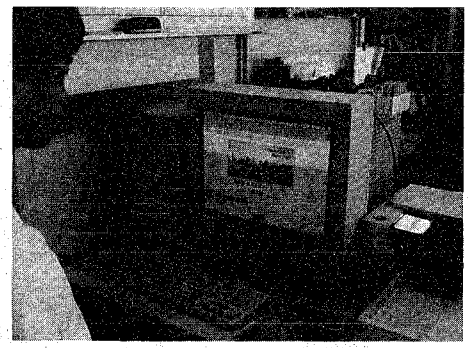
市報
平成8年
8月4日
第1536号
にいがた
発行日 毎週日曜日　発行 新潟市　〒951 学校町通1-602-1　編集 総務部広報課　印刷 ㈱第一印刷所

市の人口 〈6月末現在〉
人口 485,215人（+206）
男 235,810人（+129）
女 249,405人（+77）
世帯数 178,269（+246）
住民基本台帳による。（）は前月比

インターネット

わが街の情報全国に発信
市のホームページを開設

市のさまざまな情報をインターネットを通じて市民はもちろんのこと、広く全国に向けて発信しようと、市ではホームページを開設しました。


市の情報が引き出せるホームページ

ホームページには、①市勢概要や姉妹都市情報②文化・観光③マリンピア日本海④新潟まつり、日本海夕日コンサートなどの四季のイベント⑤意見コーナーの五項目が設置されています。

市勢概要には、ラムサール条約の指定を受けた佐潟、市民のための相談窓口や休日・急患診療センターなどを盛り込んだ「暮らしのガイド」など、市の独自性を表したページも用意してあります。

情報量は、A4版で換算すると百二十八ページ分。最初のページを開くと「NIIGATA CITY」の文字が光る仕組みになっているほか、五つの項目から直接情報を検索できます。

今後は、市民からのホームページに関する意見や提案を生かすとともに、動画・音声情報を使った新技術の利用や最新の情報を提供する予定です。

なお、ホームページに接続するためのアドレスは「http://www.mediagalaxy.co.jp/migatacity/」です。

問い合わせ 総合企画課（☎内線2107番）へ

インターネット
コンピューター同士を電話回線でつないだ世界規模のネットワーク。学術・企業・レジャー情報など、さまざまな情報が発信されており、その情報を個人のパソコンで入手できる。現在、約160カ国4000万人以上が利用しているといわれている。

一斉清掃に1万人が参加

15海岸から40トンを回収

約1000人が参加した小針浜

美しい海岸を自分たちの手で守ろうと、七月二十日「海の日」の早朝、市内十五カ所の海岸で一斉清掃が行われました。

当日は晴天に恵まれた中、島見浜から内野上新町浜までの各海岸には地元の自治・町内会やボランティアの皆さん約一万人が参加。清掃を開始して一時間ほどで、空き缶や花火の燃え残り、たばこの吸い殻など約四十トンのごみが回収されました。

会場の一つ小針浜では、長谷川市長が参加。開会式で「市内の海岸は年々きれいになっています。皆さんの積極的な活動に感謝します」とあいさつした後、地元の皆さんと共に清掃に汗を流しました。

親子で参加していた小野幸子さん、麻里奈ちゃん（真砂二）。初参加の小野さんは「きれいな海岸を守ろうという意識で子どもと一緒に参加しました」と、また、麻里奈ちゃんは「今年で二回目の参加。海岸がきれいになってうれしい」と笑顔で話していました。

なお、当日は全国三十八都道府県、六十海岸で一斉清掃が行われました。

北朝鮮の経済代表団
市長を訪問

朝鮮民主主義人民共和国の経済代表団が七月十七日長谷川市長を訪問しました。

訪れたのは、同国で初めて市場経済システムを導入した経済特別区、羅津・先鋒自由経済貿易地帯の最高責任者である金正宇対外経済協力推進委員会委員長ら五人の皆さん。一行を迎えた長谷川市長は「経済的な交流を通して、今後も両国間の理解と、信頼関係を深めていきましょう」とあいさつ。金委員長も「地理的にも、国民感情の上でも近い新潟との関係を、経済分野でもより活発に進めたい」と、今後の交流に大きな期待を寄せていました。

同代表団は、市内で行われたビジネス促進セミナーで、同地帯の投資環境や開発計画の状況を説明し、経済交流を呼び掛けました。

市と周辺六市町村で構成する新潟都市圏総合整備推進協議会では、八月下旬に長谷川市長らが、平壌や羅津・先鋒自由経済貿易地帯などを視察する予定です。

恒久平和を願い黙とうを

被爆から51年

今年は原爆の被爆から五十一年目に当たります。広島市では八月六日午前八時十五分、長崎市では八月九日午前十一時二分の原爆投下時刻にそれぞれ死没された人たちのめい福と恒久平和を祈念し、一分間の黙とうを行います。

市民の皆さんも黙とうを捧げられますようお願いします。

O157猛威
予防策を掲載
食中毒パンフ活用を

全国的にO157などの食中毒が猛威を奮っています。食中毒の予防に次の点に注意してください。

①食品は十分に加熱する
②調理器具はよく洗浄、殺菌を行うとともに、薬用せっけんなどを使って手洗いを十分に行う
③速やかに調理して、早めに食べる

なお、市では食中毒の症状や予防策などを掲載したパンフレット「細菌による食中毒」を作成。市役所本館・第一分館案内、地区事務所、連絡所、公民館、保健所、市消費生活センターで配布しています。

問い合わせ 生活衛生課（☎内線2713番）へ

この道一筋 ㊹

菓子製造　小川伊弥さん（88歳、本町通14）

創業百年の歴史を持ち、小川さんで二代目。卵と砂糖だけの昔ながらの懐かしい味を、今なお守り続けている

昔懐かしい アイスクリン

卵と砂糖だけの昔ながらの『アイスクリン』を作り続けて三十年余り。子どもからお年寄りまで愛される懐かしい味の奥には、小川夫婦の真心が込められています。

開店当時は和菓子屋だった三河屋本舗に弟子入りしたのは十四歳のころ。五、六年の修業を経て、ほかの店で腕を磨いた後、店を構えました。独立して一年ほどで三河屋本舗の先代が他界。二代目としてのれんを継いだそうです。

アイスクリンを作り始めたのは昭和三十年ごろ。夏はまんじゅうなどがあまり売れないことから、大手の菓子メーカーがアイスクリームを売り出したことにヒントを得て手作りで販売。「初めは上菓子屋がアイスクリンを売るのは恥ずかしかった。でも、夫婦でここまでやって来れたのはこれのお陰です」とニッコリ。

百歳まで作り続けたいと言う小川さんは「この味が忘れられないと、遠くからも買いに来てくれます。お客さんが喜んでくれるのが何より」と目を細めます。

園芸センター 家庭菜園講座
日時 八月七日午後一時半～三時半
内容 秋野菜（大根、ほか）の作り方
定員 先着五十人
申し込み きょう四日から電話で会場へ

鳥屋野地区公民館
申し込み 同館（☎285-2371）へ
◎レディースベタンク教室
日時 8月19・21・26・28日午後1時半～3時
対象 女性先着20人
参加費 500円
◎英会話を楽しむつどい
日時 8月30日①青年の部…午前10時～正午②成人の部…午後1時半～3時半
内容 初級英会話とゲーム、ほか
定員 各先着20人

水泳・市年齢別選手権大会
日時 8月25日午前8時45分開会
会場 西海岸公園市営プール
対象 市内在住、在勤、在学の人
種目 個人、団体
申し込み 8月13日（必着）までに申込書を会場（関屋1☎267-6858）または鳥屋野総合体育館（神道寺☎241-4600）へ ※申込書は申込先にあります

市役所・市教育委員会
☎228-1000（代表）

電話案内
テニスガーデンにいがた…276-8900
園芸センター…286-1034
水道局…266-9311
市民病院…241-5151
東保健所…243-5311
石山地区保健センター…286-4450
鳥屋野地区保健センター…285-2373
北地区保健センター…259-7332
西保健所…266-5171
西地区保健センター…262-3405
坂井輪地区保健センター…260-3255
急患診療（市医師会・県歯科医師会）
急患診療センター…228-2822
休日歯科診療センター…283-3030